



# 都立病院労組 Toritsu Hospital Workers' Union ニュース

第1期24号  
2023. 5. 16

地方独立行政法人都立病院機構労組  
執行委員会発行



団体交渉への意見  
大募集！

## 賃金・ボーナスアップ人員増を要求 団体交渉 「若いスタッフが安心して長く勤めることができる労働条件を」



5月16日18時30分から都庁で、都立病院労組初の団体交渉を行い、全支部から総勢26人が参加しました。法人本部の幹部に向けて現場の切実な要求を訴えました。

以下発言を紹介します。「賃金が私たちの交渉で決まると注目も高い。1月の物価上昇率は4.2%だ。16,000円以上の賃上げは法人本部の責務だ。責任ある回答を（墨東）」「派遣会社から来た看護師の時給は3,700円。不公平感が高まりさらに退職が増えている。派遣職員でつなぐようなことでもいいのか。荏原病院を選んでくれた患者さんに、現状では応えることができない（荏原）」

「人材を柔軟に配属できるのが独法のメリットと言っていたが、薬剤科では欠員14人、さらに6月には1人が退職。病院職員の薬剤師は、街の薬局の半分の給料。未来が見えない職場に人は来ない（駒込）」「看護助手として、清拭、トイレ介助、搬送、点滴をしている患者さんのケアもやっている。でも資格がないから時給1,420円。7時からの早出、20時までの遅出をこなし、年末年始も働いて手当もつかない。給料を上げてほしい（大塚）」「救急外来ではフルPPE対応せざるを得ない。コロナを受けるなら何らかの手当が必要だ（広尾）」

法人本部は「独法化したメリットを実現するフェーズだと思っている。一つ一つやっていきたい」と回答しました。今回の要求事項については、5月23日に第1次回答がある予定です。賃金・労働条件の改善をめざして、ともに頑張りましょう。

まだまだ意見大募集中！

給料UPで希望ある未来 人員増 年休取得増 夜勤は4回まで

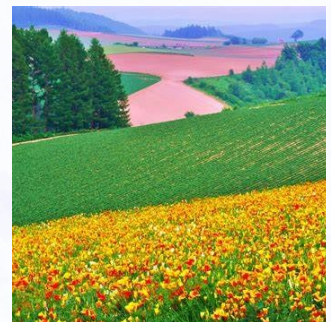
## 現場から声をあげて労働条件を改善しよう

HPIに寄せられた意見を紹介します。

「緊急入院などの対応をしながらの勤務はストレスですごく疲弊します。夜勤明けの休みは疲労でずっと寝ている状態です。この勤務状況はいつになったら改善されるのでしょうか？十分な休憩場所もありません。リラックスできる環境を作ることも処遇改善になるのでは。できれば長く勤めたいです（駒込）」「医師の当直代を業務内容に沿って支払うことを要求します。絶えず救急対応をしているにもかかわらず当直対応なのは、違法だと思います（豊島）」



▲コチラのフォームから意見を入力



発行 地方独立行政法人都立病院機構労組

@toritubyoin\_ro 都立病院のお役立ち情報を発信しています

あなたの職場の健康度は？いますぐチェック →



LINE@ 都立病院労組

職場のお悩み相談に乗ります  
LINE@アプリの登録が必要です

